

令和元年度（平成31年度）末 千代田幼稚園評価書 評価点等公表用

園目標「感性豊かな子」
重点目標「自ら考え行動する子の育成」

学校法人 千代田学園
幼保連携型認定こども園千代田幼稚園

5点満点評価 : 5 = 良好 4 = 概ね良好 3 = 普通 2 = やや努力したい 1 = かなりの改善が必要 0 = 判定できない

目的：令和元(平成31)年度を職員（内部）と理事・評議員、父母の会代表から振り返り、課題や成果を話し合うことで、令和2年度の千代田幼稚園の教育計画に生かす。

評価書に関わった人：理事・評議員・父母の会各代表（評価委員）、千代田幼稚園教職員（文責：園長 松永広雄）

- 評価書作成の手順
- ①職員にアンケートをとる。5点満点で採点。園長が集計。
 - ②理事・評議員、父母の会代表に説明
 - ③意見を聞き取る、または「判定」と「幼稚園評価委員から」欄に書いてもらう。園長が集計。
 - ④評価書にまとめる。（園長）
 - ⑤園ホームページで公表

I 経営の重点に関わること（その1）

幼稚園目標「感性豊かな子」

重点目標「自分で考え行動する子の育成」

大項目	中項目		評価の指標（少・中・長・全児・職員）	自己評価	職員評価
	(1) 園目標	(職員)	園目標、重点目標を意識し、具現化を目指して保育を行っているか。	3.9	○目標を意識できている。●意識して保育を行いたい。 ○朝夕の園長先生の話から意識を高めることができた。 ○月案、週案、日案も改善し、園目標も意識できた。
		(園説明)	クラスに園目標、重点目標、学年目標、学級目標を掲示して意識化している。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			

園の目標の具現化について	(2) 個性を引き出す教育の推進	(職員)	毎日の保育の中で、自分の考えを言わせたり、話し合わせたり、自分らしい作品にするために考えたりする行動を意識的に行っているか。	自己評価 3.9	○子どもとの会話を大切にしている。○子どものオリジナルを大切にしている。○子どもが自由に発言する時間を確保した。○学年打ち合わせを行い、思いを伝え合った。●教員自身が意識したい。
		(園説明)	考える場面を設定することを意識している。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			
	(3) 職員研修	(職員)	(職員) 生きる力の育成および園目標の具現化のために、組織として共通意識を持って、保育内容改善に取り組んでいるか。	自己評価 3.2	●テーマやねらいを話し合い、研修を進めたい。●園としての方向性を出す。●乳児部は話し合いに出られないため、全体のことが分からない。(乳)●実施時期の変更は保育者にも子どもにも負担となる。しっかり検討したい。●研修の要点が行う側に伝わっていない。
		(園説明)	園目標、重点目標を具現化するための保育について研修をしているが、職員間で意識化されていない。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			
	(4) 園の備品について	(職員)	園目標を具現化するための備品は適切な種類や量がそろっているか。	自己評価 3.4	●保管場所が分からない。●玩具の数を増やしたい。●必要な物が常にそろっていて欲しい。●備品管理者がはっきりしない。●乳児の遊具が活用されていない。(乳)○使いたいときに使うことができる。●成長に合わせた使う物への変化について対応できていない。(乳)●発達に応じたおもちゃが少ない。(乳)●手作りおもちゃを考えたい。
		(園説明)	保育士が最も気になる場所であるが、予算やバランスを考え、見直しを持って揃えていく。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			

1 経営の重点に関わること (その2)

大項目	中項目		評価の指標 (少・中・長・全児・職員)	自己評価	職員評価
運営・管理	(5) 職員のサービスについて	(職員)	36協定に準拠し、勤務時間は適切であったか。早番、遅番等変則的な勤務や土曜勤務について適切におこなわれたか。	自己評価 3.4	●職員が理解しやすいようにサービス内容の提示をしてほしい。●勤務に個人差がある。●行事準備の時間外勤務について課題あり。若手に負担が多い。○土曜勤務の振替が制度化されている。●土曜保育の管理職の不在が多い。●造形展の残業について不公平感がある。●職員の仕事内容に差がある。●長期休みではシフト外は休みを取るよう配慮したい。
		(園説明)	土曜勤務の振替が取りづらい現状である。これ以上職員を増やすのは経費的に無理。現状で工夫したい。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			
	(6) 事務処理関係	(職員)	備品の整理と確認は各学期ごと確認しているか。	自己評価 3.6	●備品紹介は定期的に行った方がよい。○しっかり管理されている。・備品の不備に気付いた職員は伝達する。●備品ごとの担当を決めることで管理の質を高めたい。
		(職員)	備品管理は適切に行われているか。		
		(園説明)	台帳や備品シール等は徹底している。古い備品については記録がない物もある。	外部評価	
	(7) 諸帳簿	(職員)	帳簿の管理は各担当ごとに適切に行われているか。	自己評価 3.9	○適切に管理されている。○見やすかった。
		(園説明)	市の指導もあり、適切に処理している。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			

	(8) 安全管理	(職員)	施設・設備の定期点検を行い、安全に配慮しているか。	自己評価 4.2	○確実にされている。●安全点検が生かされていない。修理や改善に時間がかかりすぎる。○安全に配慮するようになった。○安全点検チェック表は有効。修理が迅速に行われている。●子どもの姿に合わせた安全は守られていない。(乳)
		(園説明)	テント事故の教訓から、職員の安全意識は高くなった。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			

II 新教育要領の具現化 (その1)

大項目	中項目		評価の指標 (少・中・長・全児・職員)	自己評価	職員評価
現行学習指導要領・生きる力の育成	(健康) 健康な心と体	(乳児)	手洗い、食事、排せつなど自分でできるようになったか。	3.9	○外遊びができています。○うがい手洗いができています。○基本的な生活習慣は身につけてきた。○身の回りのことは自分でできるようになった。○手洗いができるようになった。(乳)
		(幼児)	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うことができたか。		
		(園説明)	食事については食育計画を見直し、作法や収容体験等、見直していく。園外に畑を整備したい。		
幼児が様々な体験を積み重ねる中で相互に関連をもちながら次第に達成に向かうものであること 内容は、幼児が環境にかかわって展開する具体的な活動を通して総合的に指導されるものであることに留意しなければならない。	(人間関係) 自立心	(乳児)	身の回りのことを自分でやろうとする意欲が育ったか。	3.9	●クラスの一員としての自覚を持たせたい。●他のクラスの友達との関わりが苦手な子がいる。○他のクラスの子とかかわって遊べた。○できなくても挑戦する子が多くなった。(乳) ○自分でやろうとする気持ちが芽生えてきた。(乳)
		(幼児)	他の人々と親しみ、支えあって生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養うことができたか。		
		(園説明)	クラスの一員として子ども同士の関わり方や、着替えや整頓など常に指導している。個人差が大きい。		
	(健康) 共同性	(乳児)	保育教諭や友達とふれ合い、安定感を持って行動したか。	3.8	○見通しを持って行動している。●感染症や病気をうつし合ってしまう。完治しない状態で登園する子が多い。
		(幼児)	こども園における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しを持って行動したか。		
		(園説明)	集団生活になじむ子、自己中心的な子等、個人差が大きい。家庭と連携をして対応したい。		
	(人間関係) 道徳性・規範	(乳児)	身の回りのことを自分でやろうとする意欲が育ったか。	3.7	○決まりを守る子が多い。○小さな子に教えている姿が見られた。○自分でトラブルの解決ができる。○善し悪しの判断ができる。○仲良く遊ぶ姿が見られた。
		(幼児)	他の人々と親しみ、支えあって生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養うことができたか。		
		(園説明)	各担当が子どもとかかわりながら、朝夕の準備や遊びの場を通して、毎日指導をしている。		
	(人間関係) 社会生活との関わり	(乳児)	身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持てたか。	3.8	○話を聞く姿勢が身につけ始めている。●外部団体との交流が必要。○一人遊びから複数で遊ぶようになり関わりを深めた。●個人差が大きい。経験の機会を増やしたい。
		(幼児)	社会生活における望ましい習慣や態度を身につけたか。		
		(園説明)	園外保育では、外部の人に挨拶ができたり、老人との関わりも持つことができた。		

II 新教育要領の具現化 (その2)

大項目	中項目		評価の指標 (少・中・長・全児・職員)	自己評価	職員評価
現行学習指	(表現) 思考力の芽	(乳児)	いろいろな素材に親しみ、工夫して遊んだか。	3.4	●室内の遊具が欲しい。(乳) ○自分のイメージを体で表現できる。○造形展後伸びてきた。○様々な素材に触れるようにした。
	(幼児)	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わったか。			

<p>導要領・生きる力の育成</p> <p>幼児が様々な体験を積み重ねる中で相互に関連をもちながら次第に達成に向かうものであること</p> <p>内容は、幼児が環境にかかわって展開する具体的な活動を通して総合的に指導されるものであることに留意しなければならない。</p>	生え	(園説明)	造形では自分なりのイメージを大切に、いろいろな素材を工夫して活動することができた。	外部評価	(乳)	
		(評価委員会を受けての改善策)				
	(環境) 自然との関わりや生命尊重	(乳児)	身近な環境に親しみ、自然とふれあう中で様々な事象に興味や関心を持ったか。	自己評価 3.6		○虫について興味を持ったり本で調べることができる。●保育者も努力したい。○様々なことに興味関心を持った。○虫、動植物、歴史に触れる機会を増やす努力をした。・夏野菜を育て給食に出してもらったが、理解は難しい。(乳)○園外保育でたくさん自然に触れられた。
		(幼児)	身近な環境に自ら関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとしたか。			
	(園説明)	自然とは積極的に触れ合い、動植物を観察することができた。		外部評価		
		(評価委員会を受けての改善策)				
	(環境) 数量・図形・文字等への関心・感覚	(乳児)	日常生活の中で数量や図形などに関心を持ったか。	自己評価 3.3		●考えたり試したりする活動をさせたい。○月刊絵本を自分で読もうとする。○カルタを通して文字に興味を持った。・今後の継続が重要。○図形を覚え身の回りの形を意識するようになった。
		(幼児)	身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で物の性質や数量、文字などへの感覚を豊かにしたか。			
	(園説明)	教材や教具を使い、数や形、文字について意識をした保育ができた。		外部評価		
	(評価委員会を受けての改善策)					
	(言葉) 言葉による伝えあい	(乳児)	日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに絵本に親しみ保育教諭や友だちと心を通わせたか。	自己評価 3.5		○グループで話し合う機会を作っている。●聞く態度はクラス差がある。学年を通した指導が必要。○絵本の読み聞かせを通して言葉のやりとりを楽しんだ。(乳)○伝えられる子とそうでない子の差が大きい。話しやすい環境を整えたい。○言葉の理解は増えてきた。(乳)
		(幼児)	経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養ったか。			
(園説明)	スピーチやインタビュー活動を通して集団の前で話す体験をしたり、言葉で自分の気持ちを伝える等指導をしている。		外部評価			
(評価委員会を受けての改善策)						
(表現) 豊かな感性と表現	(乳児)	描いたり作ったりすることを楽しんだか。	自己評価 3.8		○製作を通し、自分の考えを表現している。○安定した人間関係の中で自分を表現できるようになった。○自ら自由画帳に絵を描くようになった。(乳)○保育者の作った物に触る程度。(乳)	
	(幼児)	表現、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性が豊かになったか。				
(園説明)	開園以来、最も描くことや作ることに力を入れてきた。若い先生世代にも伝統を継承していきたい。		外部評価			
(評価委員会を受けての改善策)						

III 保育に関わること (その1)

日常の保	(1) 園外保育 場所や実施 方法	(乳児)	散歩や公園で楽しく遊ぶことができたか。	自己評価 4.4	●子どもと一緒に保育者が季節、自然、景色を感じる大切。●園周辺の乳児散歩コースの見直しが必要。○木の実や葉っぱに興味を持って集めた。・学年の付き添いは2人必要。○季節や成長に応じた園外保育の充実に努力した。●過去の経験と照らし合わせた気づきが無かった。・積極的に出かけたい。
		(少)	自然に親しむことができたか。		
		(中)	自然に親しみ、季節を感じ取ることができたか。		
		(長)	自然に親しみ、季節の変化を感じ取ることができたか。		
	(園説明)	四季の変化や同植物の観察、地域のひととのふれ合い等、学びの場として最適であるとする。		外部評価	
	(評価委員会を受けての改善策)				
(2) 自由画帳の 活用(2年 目)	(乳児)	自由画帳を活用したことで、園児のスキルアップに効果があったか。	自己評価 3.4	○毎日利用した。○学年でもクラスでも活用できた。○自由時間に活用できた。	
	(幼児)				
	(園説明)	今まではスキルの扱いであった自由画帳を今後どう利用していくのか思考中である。			外部評価
(評価委員会を受けての改善策)					

育について	(3) 整理整頓や片付けについて	(乳児)	遊んだおもちゃの片付けやトイレのサンダルや靴のかかとを意識した並べ方が実践できたか、について	自己評価	●担任の最後の確認見届けが必要。○トイレのスリッパの整頓ができるようになった。○自分で意識する子や声かけをする子がいる。・ゲーム感覚で片付けをさせている。(乳)○必要性を伝えた。
		(少)	自分の使った物や服を片付けようとしたか。	3.6	
		(中・長)	指示すれば自分の使った物や服を片付けられたか。 自分から気が付いて自分の使った物を片付けたか。		
	(園説明)	先生方が声かけをして、子どもたちに意識させている。できる子ども多くなりつつある。	外部評価		
	(評価委員会を受けての改善策)				
	(4) あいさつ	(全児)	(乳児) 声をかけられたら反応する。 (幼児) ごめんなさい、ありがとう、おはようございます、さようなら等 元気に場に応じた心のこもったあいさつができたか。	自己評価	
(園説明)		朝の挨拶は先生方が意識して行っている。園外保育では山道ですれ違った人に挨拶はできる。心のこもった挨拶は今後の課題となる。	外部評価		
(評価委員会を受けての改善策)					

III 保育に関わること (その2)

日常の保育について	(5) 聞く、話す	(乳児)	席に座って話を聞くことができたか。	自己評価	●聞く事への指導の徹底が不足。○伝え合うことができている。○自分で伝える大切さを話してきた。○手は膝において話を聞くことができる。(乳)○椅子に座ることはできるようになった。(乳)●個人差が多い。○概ねできている。●発信力が不足している。
		(少)	指示を聞き取ることができたか。	3.9	
		(中)	自分の思いを相手に伝えられたか。		
	(園説明)	聞く力は向上してきた。しかし、長時間になると集中が切れる。	外部評価		
	(評価委員会を受けての改善策)				
	(6) 着替えや身の回りの整頓	(乳児)	着替えや片付けを、自分からしようとしたか。	自己評価	
		(少)	手伝ったり指示されながらできたか。	3.6	
		(中)	自分から進んでできたか。		
	(園説明)	各学年に応じて、指導を行っている。年度末にはできるようになる子が多い。	外部評価		
	(評価委員会を受けての改善策)				
	(7) 基礎基本の定着、反復練習	(乳児)	クレヨンの持ち方やのりの付け方が身についているか。	自己評価	○のり、クレヨン他、基本的な使い方が身についている。○年少からの継続ができてきた。○行事を通して経験の機会を増やし、自信が持てるように促した。●すべての子に目が行き届かなかった。
		(幼児)	学年に応じた、はさみやのり、筆やクレヨンの使い方等、絵画工作での基礎基本や打楽器や鍵盤の演奏をする上での基礎基本が定着しているか。	3.4	
(園説明)		描く、作る、音楽等の基礎基本は教えるべき項目として、徹底して教えている。	外部評価		
(評価委員会を受けての改善策)					
(8) 食事・給食	(全児)	お箸やスプーンの持ち方、食べる時のマナー等、作法が分かり、偏食なく何でも食べられるか。	自己評価	●食事のマナーの徹底。○苦手な食品も一口は食べるようにしている。・園と家庭で情報を共有しながら声かけをしていく。●スプーンを正しく持つことを徹底したい。(乳)○偏食、食が細い	
	(園説明)	課題として考えたい。食育や栽培計画を見直し、6年間を見通した指導や職員の意識を改革したい。	外部評価		

	について	(評価委員会を受けての改善策)			子ども食べる努力をしようとする意識は高まってきた。○自分で食べる喜びを感じている。(乳)
--	------	-----------------	--	--	--

IV 行事に関わること (その1)

行事	(1) 春・秋の遠足	(全児)	季節を感じたり、親・子同士が仲良くなる機会となったか。	自己評価 4.0	○保護者同士が仲良くなるきっかけとなった。○フルーツパークは適切。○親子で楽しめた。
		(園説明)	春の遠足は交流の場として効果があった。秋は無し。お別れ遠足は該当学年が設定する。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			
	(2) 夕涼みの会	(全児)	夏を体感し、踊りや神輿、出し物で楽しむことができたか。	自己評価 3.8	○お祭りを楽しんでいた。●形骸化している。本当に必要か検討したい。○浴衣やお面で雰囲気を楽しんだ。(乳)
		(園説明)	保護者と園とで内容を協議しながら継続していく。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			
	(3) 運動会	(全児)	各学年の演技や競技を通して、園目標の具現の場となったか。	自己評価 3.6	●普段の生活が行事に現れることを意識したい。●乳児の参加の仕方を考えたい。(乳) ○自分から意欲的に参加できた。●実施時期を再検討したい。
		(園説明)	乳児の参加を考え、東部体育館での実施が望ましい。2ヶ月前の抽選であることや運動団体にしか貸与しないことが課題となる。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			
	(4) 造形展	(乳児) (少) (中) (長)	制作を楽しく体験できたか。 制作する喜びを味わったか。 根気強く最後まで取り組めたか。 自分らしい作品ができたか。	自己評価 4.0	○作る喜びは達成できた。●内容について再検討が必要●子どもたちにわかりやすいテーマにしたので負担が少なかった。無理なく見栄えのする作品ができた。○自分の思いを表現させることができた。○保育者が褒めることで喜びを感じている。(乳)
		(園説明)	園の伝統として今後も続けていく。子どもと先生とが話し合いながら制作する方法を考えていく。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			

IV 行事に関わること (その2)

(5) 音楽発表会	(全児)	曲に合わせて楽しく歌おうとする。 局に合わせて元気に歌ったり身体表現ができる。 きれいな声を意識して歌ったり、楽器を演奏する。 響きのある声で歌ったり、合奏したりする。	自己評価 4.2	○音楽の表現活動が達成できた。●保護者は15分のための来園になっているのはどうか。○練習風景を見ることができた。○音楽会で培った表現がその後の保育につながった。
	(園説明)	歌や楽器の指導を通し、教育目標(感性豊かな子)の育成する場として適切と考える。	外部評価	
	(評価委員会を受けての改善策)			

行事	(6) 生活発表会	(全児)	大勢の前でも、発表をしようとする。 曲に合わせて踊ったり身体表現ができる。 大きな声で言葉を言い動作化する。 言葉を中心に劇を進めていくことができる。	自己評価 3.4	・0歳児は大勢の前に出さない方がよい。(乳)・保護者にいろいろな学年を見てもらい、成長の差を感じてもらうことが必要ではないか。
		(園説明)	乳児の参加について、参加する方向で実践の場を通して考えていきたい。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			
	(7) 集会	(乳児) (幼児)	何を言っているのか、聞こうとしたか。 避難金連時の話や集会等に反応しながら聞くことができたか。	自己評価 3.4	○集会での話をクラスで再確認することを心がけた。●集会が不定期になっている。●第1月に集会ができなかった。●時間がたつと飽きてしまう。(乳) ●先生の問いかけに無反応。
		(園説明)	定期的に行い、聞く力やマナー、考える力の育成の場としたい。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			
	(8) 季節ごとの行事 鯉のぼり クリスマス会 豆まき ひなまつり もちつき等	(全児)	制作やお話を聞く機会を通して、行事の意味を知る機会となったか。	自己評価 3.9	○行事に関する話や意味、伝説を興味深く聞いた。●途中で飽きてしまう。○行事に自らかかわるような制作や音楽表現が楽しめた。○行事の意味は分からないが楽しそうに見ている。(乳)
		(園説明)	家庭では薄れてしまった行事や伝統を体験できるのは幼稚園の役目となってきている。継承することに力を入れたい。	外部評価	
		(評価委員会を受けての改善策)			

令和元年度（平成31年度）末の総評

園から・経営のまとめ（園長記述）	
(成果)	こども園2年目が終了しようとしているが、1年目は組織として稼働することが精一杯であった。今年度は働き方改革の方針を踏まえ、土曜の預りや行事の見直しをして、こども園としての年間指導計画を考え実施することができた。やや安定した経営ができたことが成果としてあげられる。しかし、食育や行事など新たに見直すところも出てきたため、更に改革が必要となる。
(課題)	(土曜日の振替が取得しにくいことについて) 対応策として、幼児は年少、中、長それぞれ3学級4人体制にしている。しかし、乳児は各学年1名増にはなっていない。1歳(りす組)は2名担任のところを、1名増の3名にしているが手が離せない状況。0歳(ひよこ組)と2歳(りす組)は6人の職員に対して乳児部指導保育教諭1名のみでの対応となるため、幼児指導保育主任、主幹教諭、教頭で対応を考えている。(若手育成について) 1年目、2年目の教員について3年間を目安に計画的に育成していきたい。5年から10年後に職員の大幅交代期を迎えるため、今のうちからリーダーとしての育成も急務となる。
(最後に)	
千代田幼稚園理事、評議員、父母の会（評価委員会）より（評価委員会記述）	